



7月の園だより

令和5年7月1日

目黒区立祐天寺保育園園長

5歳クラスの子どもたちが、数日かけていろいろな工作に取り組んでいました。「何をつくっているの?」と尋ねると「ひみつだよ」と含み笑いの表情が、何やら楽しそうです。実は、お化け屋敷で、保育園中のみんなを驚かせるために準備をしていたのです。

さて当日、段ボールで保育室いっぱい迷路を作り、お化けに扮した5歳クラスの子どもたちが待機し準備万端です。小さいクラスの子どもたちには、電気をつけた明るい部屋で優しく、幼児のクラスには暗くしてちょっと脅かしてくれます。もらったチケットを手にとってきたお客さんたちは恐々ながらも楽しんでいる子、入っては見たものの泣いてしまう子、入り口で動けない子と様々です。それもそのはず、5歳クラスにとっては2度目のお化け屋敷ですからイメージも膨らみ、怖さが増していました。大騒ぎでお化け屋敷が終わったあと、3歳クラスの子どもたちが「こんどぼくたちがおばけになっておどかさうよ」と盛り上がり、午後には思い思いに描いたお面をつけた小さなお化けたちがあちらこちらで暴れまわりました。5歳のお化け屋敷には恐くて一步も入れなかった数人が、生き生きとお化けになりきっていたのが、なんとも微笑ましかったです。

各クラスで、様々なごっこ遊びが展開され年齢なりのイメージを共有して楽しんでいます。時にはこんな大きな展開となり、保育園中での楽しみとなります。幼児期にたくさん膨らませてほしい空想の世界です。

さて、今年もプール、水遊びが始まりました。日々の体調管理とご準備をよろしくお願いいたします。

砂、泥あそびの様子

〈7月の行事〉 七夕

避難訓練・身体計測

1つの遊びでも年齢によって遊び方も様々です。各クラス、砂、水の性質に触れながら不思議さを感じたり、変化を発見したりしています。

1歳クラス「さわってみよう」

子どもたちは真っ黒になった手や足を「みて」と保育士に得意げに見せ、「わっ、まっくろだね」と驚くととても嬉しそうに笑顔を見せてくれます。砂地に出来た泥だまりにそっと入っては、足でドロドロの感触を味わい、そのうち豪快に足踏みしながら泥しぶきを上げるのを楽しむ姿が出てきました。水加減で砂の感触が変化することも面白く、ザラザラ、ツブツブ、トロトロなど様々な感触を楽しんでいます。これからも新しい発見への驚きや喜びにたくさん共感し、興味を広げていきたいと思います。

0歳クラス

「これが砂?泥?」

ゴザに座って砂を握ってみたり、手の平で地面を撫で、自分の手を見てみると「おお」と驚く表情も見せてくれます。保育士がカップから砂をこぼすと、同じように真似て自分でもカップをひっくり返し、不思議そうにじっと見えています。他クラスがダイナミックに泥んこ遊びを始めると興味を示し、四つ這いで向かい触れています。保育士に抱かれている子も一緒に仲間に入れてもらい、手足の指先から少しずつ泥にも触れている子どもたちです。



2歳クラス「サラサラ…トロトロ…ドロドロ」

お気に入りの容器をテーブルに沢山並べて、一つひとつの容器に水と砂を入れて様々な混ぜ具合でお料理を楽しんでいます。何回も楽しんでいる間に、サラサラしたものはお茶やジュース、ドロドロしたものはカレーに見立てています。トロトロとした泥は表面がふんわり膨らんでいるので「ホットケーキみたい」と身近な物にイメージしています。いくつかのお料理を1枚のトレーに乗せて、「どうぞ」と保育士にごちそうしてくれると、友達も集まり、レストランごっこになり遊びが続いています。

この夏も砂や水に触れて色んなイメージの中で楽しんでいきたいと思っています。



3歳クラス「海だ」

子どもたちが砂場にバケツで水をたくさん運んでいくと、大きな水たまりができました。「海みたいだね」と一人が言うと、そこにいた子どもたちも「海だ」とイメージを共有しています。水たまりに葉っぱが浮かんでいるのを見つけた子が「ほら、さかながとれたよ」と言うと、さらにみんなで葉っぱを浮かべて魚釣りが始まりました。すると、また一人が石をあさりに見立てて「あさりとれたよ」と嬉しそうに見せてくれました。その姿を見てみんなで一生懸命、石を探していました。

泥水の水たまりが海に見えるなど、素敵な想像を膨らませながら遊んでいます。

4歳クラス「砂と水の戦い」

「水と砂、砂がすぐに無くなったから、水の勝ち」と言いながら、水の入ったカップに何度も砂を入れて遊んでいる子がいました。それを見た友達が「この泥団子を入れてみよう」と言い出し入れてみました。すると最初は形が崩れなかったので、「おー」と喜んでいたのですが、少しずつ水に溶けていき崩れてしまいました。その様子を見て「やっぱり水の勝ちだ」と友達同士で顔を見合わせていました。保育士が「何で水が勝つんだろうね」と尋ねると「だってアイスも溶けるでしょう」と、自分の体験と重ねて得意気に話していました。「何でだろう」「不思議」と思う、好奇心や探求心が広がってきています。



5歳クラス「川作り」

園庭に水を流してできた水流を見て、「川みたいだ」「もっと大きな川にしよう」と話し、「もっと水持ってくるよ」「誰かこっち掘るの手伝って」などと声を掛け合い協力して、園庭を横断する大きな川を作りました。相談しながら、流れを分岐させたり、大きな池の中に州を作ったり、堤防のようにせき止めるなどしていました。子どもたちのイメージもどんどん広がっていき船を浮かべています。暫く水の流れを見ているうちに、「(川の幅が)広い所よりも狭い所を流れる時の方が速い」と気づき、友達と「何でだろう」と考えながら何度も試し、水の不思議さにも興味関心を持って楽しんでいる子どもたちでした。

